



平成 23 年度 通常総会・講演会・交流会



6月22日(水)午後2時30分から大阪リバーサイドホテルにおいて、通常総会とそれに引き続いて講演会が行われました。

冒頭に南会長と大阪市環境局の玉井局長(代読)よりご挨拶を頂いたあと、出席会員72名、書面表決会員126名、委任状提出会員55名、計253名の出席により、総会の有効成立が宣言されました。

会議は提出された議案書に基づき進められ、1号議案「大阪市環境経営推進協議会規約の改正」において、現在の副会長2名を若干名に改める議案が承認されました。

平成22年度の事業報告(2号議案) 収支決算書及び監査報告(3号議案)が承認された後、今年度は理事及び会計監事の任期満了となるために、新規役員改選(4号議案)が行われ拍手を持って承認された後、一旦総会を休会し、別室にて理事会が行われ下記の会長・副会長の選任が行われました。

- 会長 : 南 克昌氏(大和中央病院理事長)
- 副会長: 金子 千万利氏(有光工業(株)常務取締役)
- 副会長: 辻 隆之氏(株)太洋工作所代表取締役会長)
- 副会長: 寺川 直樹氏((財)日本生命済生会付属日生病院長)
- 副会長: 高浜 貞義氏(田岡化学工業(株)レスポンシブル・ケア室部長)

新会長・副会長



中村建助氏



再開された総会で、平成23年度事業計画案(5号議案)及び収支予算(6号議案)と審議され、いずれも承認されて閉会になりました。

講演会は、日経BP社 日経エコロジー編集長の中村建助氏に「激動する時代に環境ビジネスは何をもたらすか」と題して、3.11以後の東日本大震災と福島原発事故の時宜を得た話題とともに、非大企業でも成功した環境ビジネスの事例紹介やスマート技術による環境未来都市構想など、大いに感銘を受けるお話を伺いました。

大阪市からは環境企画課の倉光環境企画担当課長代理から、「大阪環境ビジョン」の紹介と、太陽光発電とドライ型ミスト装置の補助金についても説明をしていただきました。



飯田哲也氏

総会と講演会の後、場所を移して会員相互の情報交換と親睦会をかねて、交流会を催しました。45名の参加者が集まり、名刺の交換や情報交換に和やかなひとときを過ごしました。

最後に余興として、大阪環境カウンセラー協会の飯田哲也氏に「病気のガイヤ」と題する創作落語をしていただき、病気になった地球が医者にかかるという壮大な話の中に、環境問題の重要性を考えさせるテーマで、拍手喝采のうちに閉会を迎えることが出来ました。

第 1 回 理事会

本年度の第 1 回理事会が 4 月 21 日（木）午後 3 時から阿倍野区の「あべのルシアス」12 階第 2 会議室で行われました。南会長と大阪市環境施策部松本部長のご挨拶の後、6 月開催予定の総会案内と、そのときに提出される予定の議案（1 号議案～6 号議案）の説明があり、質疑応答の後、承認されました。このあと、「おおさか環境ビジョン報告」を、環境施策部の徳本環境企画担当課長より説明していただきました。



第 1 回 セミナー エコアクション 21

中小企業向けの環境マネジメントシステムとして環境省が進めているエコアクション 21 の認証取得を大阪市環境経営推進協議会主催の集合研修方式で取り組むグリーン化プログラムの説明会を、7 月 7 日に行いました。当日は 4 事業所様の参加があり、エコアクション 21 の概要説明と集合研修の進め方の説明を行いました。

この後、9 月 20 日、10 月 18 日、11 月 15 日、と平成 24 年 2 月 14 日の 4 回のスクールが予定されています。参加ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

第 2 回 セミナー 緊急節電エコセミナー

3.11 の東日本大震災とそれに続く福島原発事故は、この夏の電力事情に大きな支障をきたしており、事業所や家庭にも節電対策を要請されております。

そこで、緊急節電対策、エコ対策に関する第 2 回セミナーを 7 月 14 日（木）大阪市環境局会議室で行いました。

関西電力株お客さま本部の社頭真二マネージャー様からは、「今夏の最新の電力事情、ピークシフト並びに節電対策について」と題して、「でんき予報」による情報提供、電力使用のピークを抑えるための手法、個々の電気設備で取れる節電対策などの説明をしていただきました。

また熱エネルギー管理士・省エネ普及指導員の宇田吉明様からは、契約電力の仕組みと最大需要電力を抑えることの有効性から、ピークカットのいろいろな手法についてのお話をお聞きしました。当日は 63 名の参加があり、それぞれの事業所での節電に対する関心の深さを垣間見ることが出来ました。



西地域部会総会・事例発表会

6 月 17 日（金）西区の日生病院予防医学センターの多目的室において、平成 23 年度の西地域部会の総会が行われました。

平成 21-22 年度の活動報告、役員の改選、平成 23 年度活動計画・収支予算についての議題が承認されたあと、本年度は各社の環境活動の事例発表会を開きました。



事例発表

- ・(株)アースアプレイザル GF 様
東日本大震災の直後に被災地にボランティアで入られて、がれき撤去作業で心配なアスベスト飛散調査に参加された事例を発表されました。
- ・(社)西工業会様
自社ビルで実施された LED ランプへの取替え効果を、初期投資額とその回収期間、年間の CO2 排出削減量の説明がありました。
- ・日本生命済生会付属日生病院様
病院経営における消費エネルギー量と省エネ対策工事や種々の取り組みを説明いただきました。

荒川化学工業株式会社 大阪工場

荒川化学は、明治 9 年の創業以来「ロジン（松やに）に代表される地球に優しい素材を通して、社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー」であることを目指しています。

環境保安基本方針として「製品の開発から廃棄に至るまでの環境、安全、健康を確保し、地球環境と調和する事業活動を行う」ことを定め、経営の優先課題として環境保全活動に取り組んでいます。

大阪工場は当社で最も歴史ある工場で、昭和 11 年（1936）に設置し、今年で 75 周年を迎えます。環境配慮の一環として、触媒燃焼方式の排ガス脱臭設備の導入や物流拠点の統合による CO₂ 排出量削減など国のクリーンエネルギー化への取り組みに貢献しています。



大阪工場



触媒燃焼脱臭装置（2基目）

< 沿革 >

- 昭和 11 年（1936） 大阪工場操業開始
- 平成 13 年（2001） ISO14001 認証取得
（JQA-EM1590）
- 16 年（2004） 触媒燃焼脱臭装置設置
蒸気ボイラーの燃料を重油
から天然ガスへ転換
- 21 年（2009） 濃縮型触媒燃焼脱臭装置設置
- 22 年（2010） 立体自動倉庫完成

環境関連施設

化学物質の大気排出量削減と周辺住民への臭気対策として触媒燃焼脱臭装置（2基）を運転しています。高COD廃水を自社で焼却処理できる焼却設備も運転しています。

地球温暖化防止への取り組み

地球温暖化防止対策として、ボイラー燃料の天然ガスへの転換を行っています。2010年には立体倉庫建設により、今まで3か所に分散していた保管場所を統合することができ、トラック輸送やリフト作業に伴うCO₂の発生を大幅に削減することができました。



ボイラー燃料を灯油・重油から天然ガスへ変換

地域への貢献

研究所と合同で、毎年 11 月に大阪市一斉清掃「クリーンおおさか」に参加し、工場周辺の清掃活動を行っています。また、餅つき大会等の地域の行事の際に駐車場を開放し、近隣住民との交流を積極的に行っております。

<大阪市>

大阪市から節電のお願い

事業者のみなさんへ

今回の東日本大震災による影響を受け、関西においても今夏の電力不足が懸念される状況にある中で、去る6月10日に関西電力から本市に対して、「7月1日から9月22日までの平日の9～20時において15%程度」の節電要請がありました。

本市としては、関西電力に対して、電力供給に関するよりきめ細かな情報の開示を引き続き求めるとともに、節電が市民生活や経済活動への大きな影響を避けつつも、大停電回避に向けて最大限協力するため、本市事務事業の各分野における具体的な節電対策をとりまとめました。

本市は、市民や事業者の皆さん自らの節電行動をお願いするとともに、本市の節電対策への協力を呼びかけ、この夏の電力不足に対応していきます。

次のとおり節電に関するウェブサイトを紹介しますので是非ご覧ください。

大阪市の節電対策

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000130193.html>

いますぐできるこの夏の節電対策（大阪市）

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000130857.html>

政府の節電ポータルサイト（資源エネルギー庁）

<http://setsuden.go.jp/>

みんなで節電アクション（環境省）

<http://www.challenge25.go.jp/setsuden/>

事務局だより

通常総会・講演会へのご参加ありがとうございました。また第2回緊急節電エコセミナーにも多数のご参加を頂きまして盛況のうちに終わることが出来ました。ありがとうございました。

社員教育向けに講師無料派遣を行う「出前講座」、騒音計の無料貸し出しやISO14001の内部監査員養成講座の会員割引など、会員様向けサービスをご利用下さい。

【編集後記】東日本大震災とそれに続く福島原発事故の影響は今後数年で収まるのでしょうか。この夏の電力不足は、会社で家庭でそれぞれが節電努力を行って何とか乗り切りたいものです。(T)

第16号 平成23年8月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

住 所：〒545-8550 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階

大阪市環境局 環境施策部 環境計画課（環境活動担当）

TEL 06-6630-3467 FAX 06-6630-3580

業務委託先：NPO法人 大阪環境カウンセラー協会

住 所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNP0411号室

大阪市環境経営推進協議会事務局業務担当

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

<http://www.osaka-e-keiei.org/>